

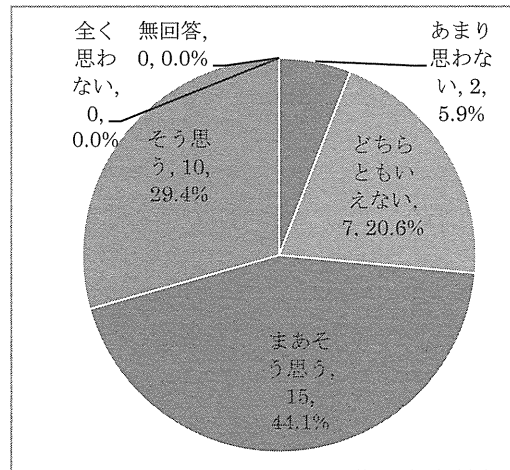
⑧ 現在の職種に全体として満足している

あまり思わないが 2 名 (5.9%)、どちらともいえないが 7 名 (20.6%)、まあそう思うが 15 名 (44.1%)、そう思うが 10 名 (29.4%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 0 現在の職種に満足

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	2	5.9
どちらともいえない	7	20.6
まあそう思う	15	44.1
そう思う	10	29.4
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 9 現在の職種に満足



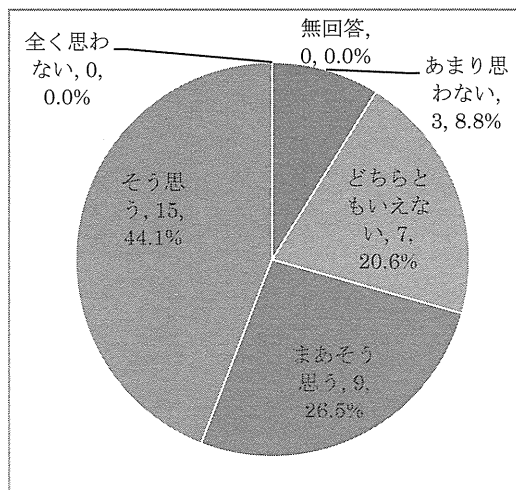
⑨ 今の仕事を今後も継続して続けたい

あまり思わないが 3 名 (8.8%)、どちらともいえないが 7 名 (20.6%)、まあそう思うが 9 名 (26.5%)、そう思うが 15 名 (44.1%) であり、そう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 1 今の仕事を続けたい

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	3	8.8
どちらともいえない	7	20.6
まあそう思う	9	26.5
そう思う	15	44.1
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 0 今の仕事を続けたい



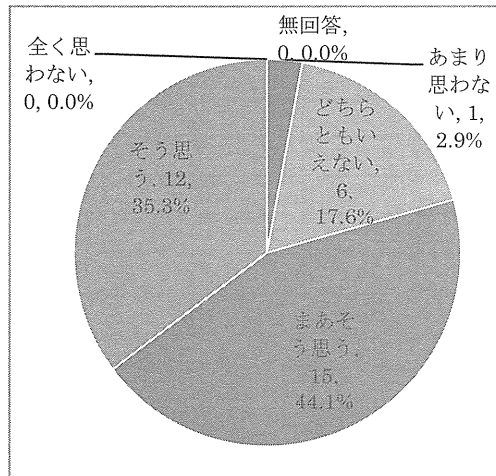
⑩ 自分の職業を誇りに思う

あまり思わないが 1 名 (2.9%)、どちらともいえないが 6 名 (17.6%)、まあそう思うが 15 名 (44.1%)、そう思うが 12 名 (35.3%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 2 自分の職業を誇りに思う

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	1	2.9
どちらともいえない	6	17.6
まあそう思う	15	44.1
そう思う	12	35.3
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 1 自分の職業を誇りに思う



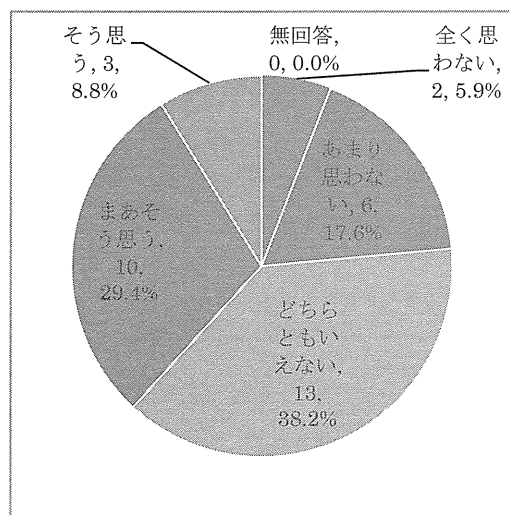
⑪ 相談支援専門員という職業が自分に向いている

全く思わないが 4 名 (5.1%)、あまり思わないが 13 名 (16.5%)、どちらともいえないが 29 名 (36.7%)、まあそう思うが 23 名 (29.1%)、そう思うが 10 名 (12.7%) であり、どちらともいえないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 3 自分に向いている

	度数	パーセント
全く思わない	2	5.9
あまり思わない	6	17.6
どちらともいえない	13	38.2
まあそう思う	10	29.4
そう思う	3	8.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 2 自分に向いている



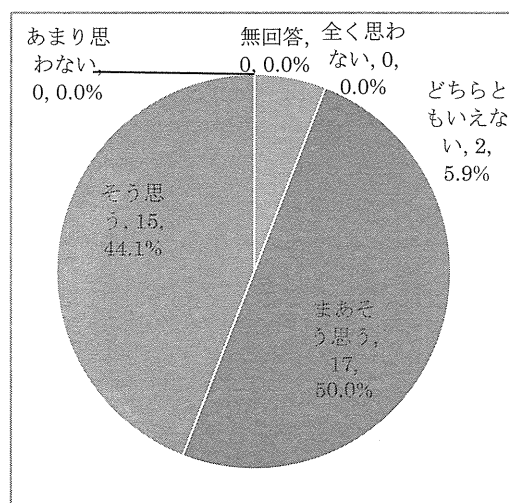
⑫ この仕事を通じて人間的に成長している

どちらともいえないが2名(5.9%)、まあそう思う17名(50.0%)、そう思うが15名(44.1%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 4 人間的に成長している

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	0	0.0
どちらともいえない	2	5.9
まあそう思う	17	50.0
そう思う	15	44.1
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 3 人間的に成長している



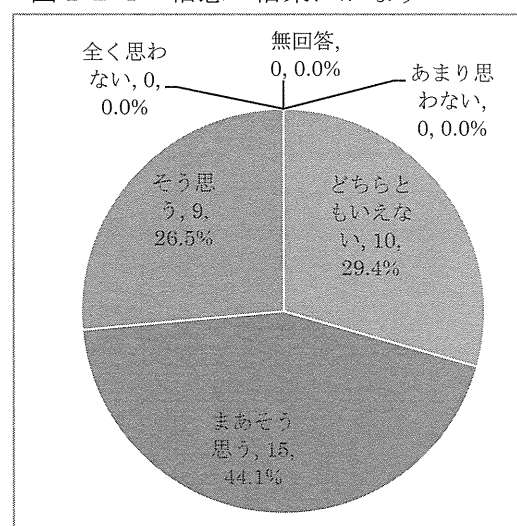
⑬ この仕事は自分の信念・信条にかなうものである

どちらともいえない10名(29.4%)、まあそう思うが15名(44.1%)、そう思うが9名(26.5%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 5 信念・信条にかなう

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	0	0.0
どちらともいえない	10	29.4
まあそう思う	15	44.1
そう思う	9	26.5
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 4 信念・信条にかなう



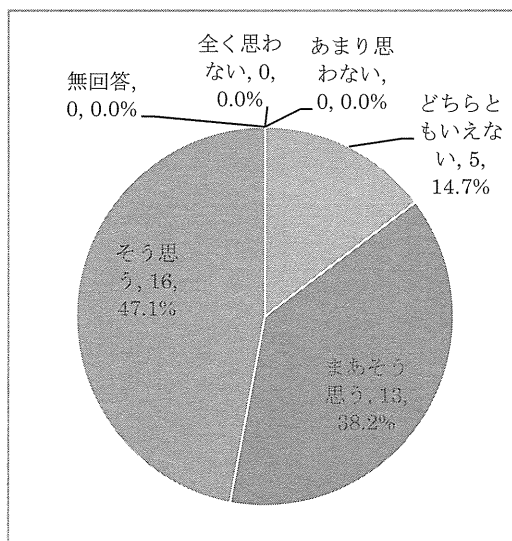
⑭ この仕事はやりがいのある仕事である

どちらともいえない5名(14.7%)、まあそう思うが13名(38.2%)、そう思うが16名(47.1%)であり、そう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 6 仕事にやりがいがある

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	0	0.0
どちらともいえない	5	14.7
まあそう思う	13	38.2
そう思う	16	47.1
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 5 仕事にやりがいがある



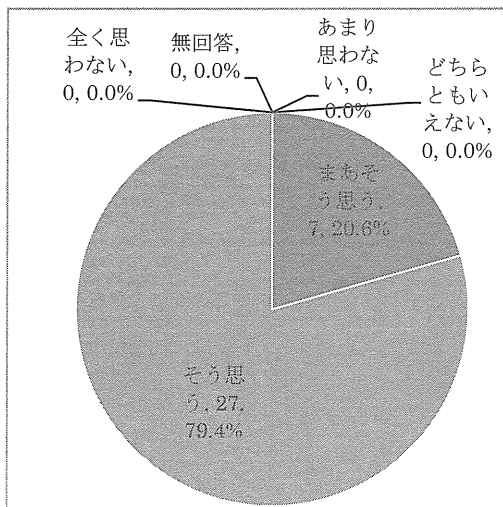
⑮ この仕事には幅広い知識が必要である

まあそう思うが7名(20.6%)、そう思うが27名(79.4%)であり、そう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 7 幅広い知識が必要

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	0	0.0
どちらともいえない	0	0.0
まあそう思う	7	20.6
そう思う	27	79.4
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 6 幅広い知識が必要



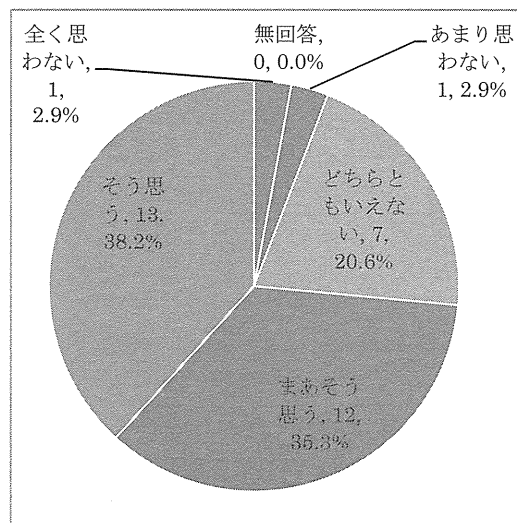
⑯ 仕事の力量向上のため自主的に研修・教育の機会を活用している

全く思わないが1名(2.9%)、あまり思わないが1名(2.9%)、どちらともいえないが17名(21.5%)、まあそう思うが27名(34.2%)、そう思うが29名(36.7%)であり、そう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 8 自主的に研修の機会を活用

	度数	パーセント
全く思わない	1	2.9
あまり思わない	1	2.9
どちらともいえない	7	20.6
まあそう思う	12	35.3
そう思う	13	38.2
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 7 自主的に研修の機会を活用



3) 最近6か月のうちに感じたこと

自分は非常に重要な仕事をしてきていると感じる、自分の仕事の中で感情的な問題も冷静に扱っている、利用者のそばでかかわりながら働いた後は気分が良いとされる反面、仕事で精神的な消耗を感じる、自分は働きすぎていると感じるとされる傾向にあった。

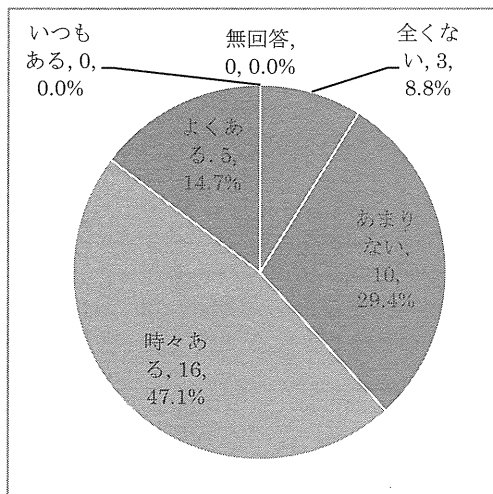
① 利用者がどのように感じているかを容易に理解できる

全くないが3名(8.8%)、あまりないが10名(29.4%)、時々あるが16名(47.1%)、よくあるが5名(14.7%)であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 4 9 利用者理解

	度数	パーセント
全くない	3	8.8
あまりない	10	29.4
時々ある	16	47.1
よくある	5	14.7
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 8 利用者理解



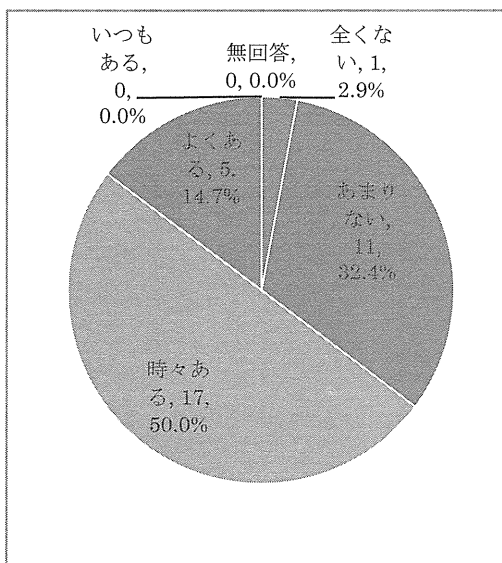
② 利用者が抱えている問題を効果的に処理できる

全くないが 1 名 (2.9%)、あまりないが 11 名 (32.4%)、時々あるが 17 名 (50.0%)、よくあるが 5 名 (14.7%) であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 5 0 問題処理を効果的に処理できる

	度数	パーセント
全くない	1	2.9
あまりない	11	32.4
時々ある	17	50.0
よくある	5	14.7
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 2 9 問題処理を効果的に処理できる



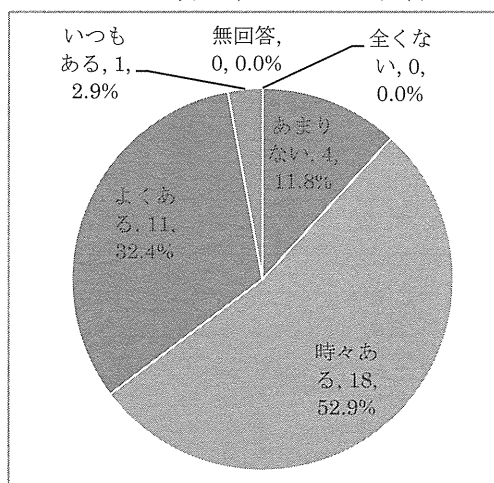
③ 自分の仕事は他の人々の生活により影響を与えていると感じる

あまりないが4名(11.8%)、時々あるが18名(52.9%)、よくあるが11名(32.4%)、いつもあるが1名(2.9%)であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表151 自分の仕事がよく影響を与える

	度数	パーセント
全くない	0	0.0
あまりない	4	11.8
時々ある	18	52.9
よくある	11	32.4
いつもある	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図130 自分の仕事がよく影響を与える



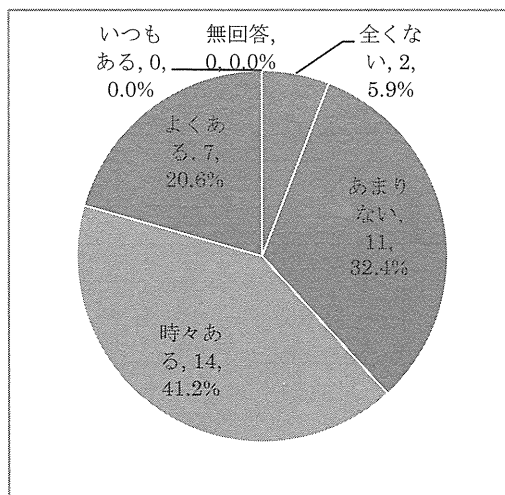
④ 自分は非常に精力的だと感じる

全くないが2名(5.9%)、あまりないが11名(32.4%)、時々あるが14名(41.2%)、よくあるが7名(20.6%)であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表152 自分は精力的だと感じる

	度数	パーセント
全くない	2	5.9
あまりない	11	32.4
時々ある	14	41.2
よくある	7	20.6
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図131 自分は精力的だと感じる



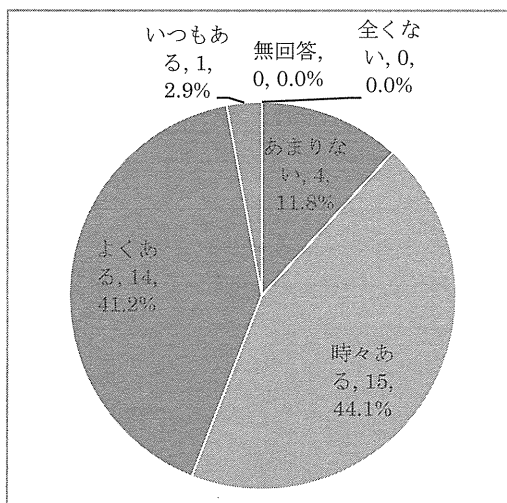
⑤ 利用者がくつろいだ気分になれるような雰囲気をつくりやすくなる

あまりないが 4 名 (11.8%)、時々あるが 15 名 (44.1%)、よくあるが 14 名 (41.2%)、いつもあるが 1 名 (2.9%) であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 5 3 くつろいだ雰囲気をつくる

	度数	パーセント
全くない	0	0.0
あまりない	4	11.8
時々ある	15	44.1
よくある	14	41.2
いつもある	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 3 2 くつろいだ雰囲気をつくる



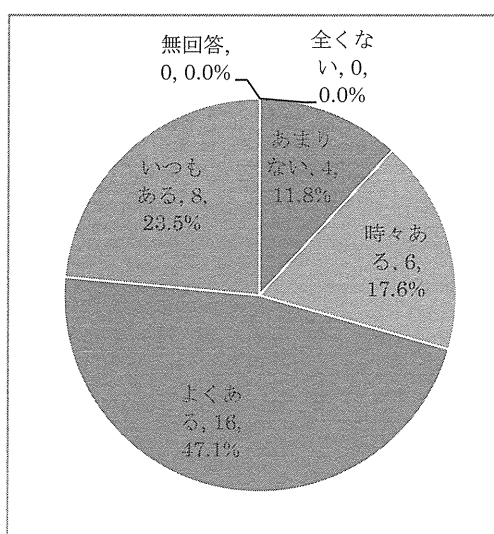
⑥ 仕事で精神的な消耗を感じる

あまりないが 4 名 (11.8%)、時々あるが 6 名 (17.6%)、よくあるが 16 名 (47.1%)、いつもあるが 8 名 (23.5%) であり、よくあるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 5 4 仕事で精神的な消耗を感じる

	度数	パーセント
全くない	0	0.0
あまりない	4	11.8
時々ある	6	17.6
よくある	16	47.1
いつもある	8	23.5
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 3 3 仕事で精神的な消耗を感じる



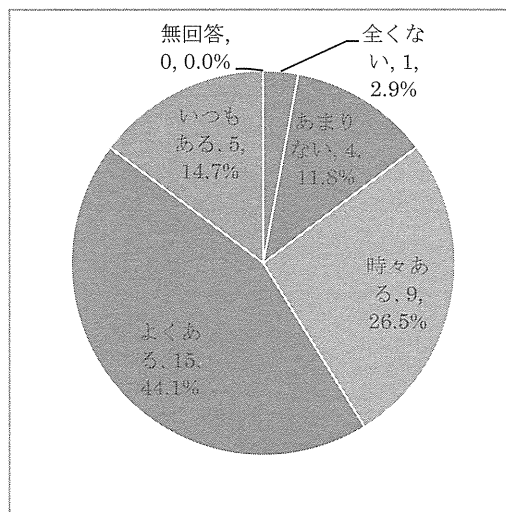
⑦ 仕事が終わると疲れ果てたと感じる

全くないが1名(2.9%)、あまりないが4名(11.8%)、時々あるが9名(26.5%)、よくあるが15名(44.1%)、いつもあるが5名(14.7%)であり、よくあるという回答の割合が最も高くなっていた。

表155 疲れ果てたと感じる

	度数	パーセント
全くない	1	2.9
あまりない	4	11.8
時々ある	9	26.5
よくある	15	44.1
いつもある	5	14.7
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図134 疲れ果てたと感じる



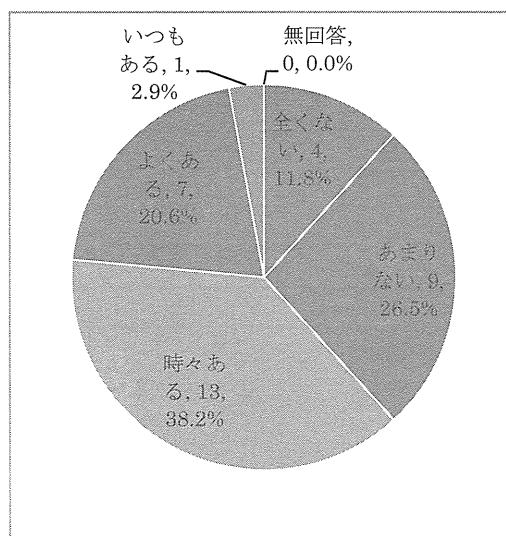
⑧ 朝起きたとき疲労感を感じ仕事に出かけるのが嫌になる

全くないが4名(11.8%)、あまりないが9名(26.5%)、時々あるが13名(38.2%)、よくあるが7名(20.6%)、いつもあるが1名(2.9%)であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表156 朝起きたとき疲労感を感じる

	度数	パーセント
全くない	4	11.8
あまりない	9	26.5
時々ある	13	38.2
よくある	7	20.6
いつもある	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図135 朝起きたとき疲労感を感じる



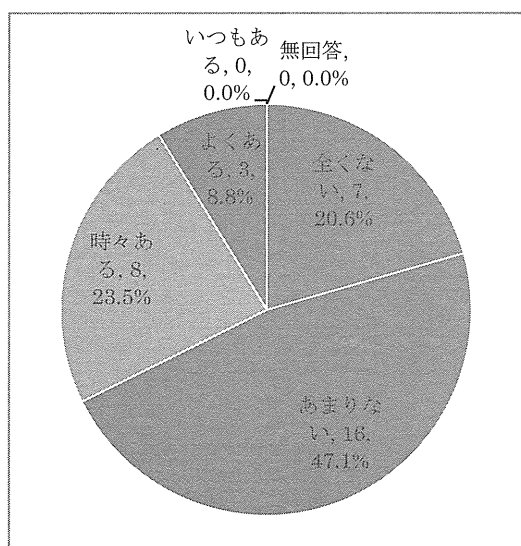
⑨ 人と一緒に一日中仕事をすることを負担に感じる

全くないが7名(20.6%)、あまりないが16名(47.1%)、時々あるが8名(23.5%)、よくあるが3名(8.8%)であり、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 5 7 人と一緒に仕事をすると負担

	度数	パーセント
全くない	7	20.6
あまりない	16	47.1
時々ある	8	23.5
よくある	3	8.8
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 3 6 人と一緒に仕事をすると負担



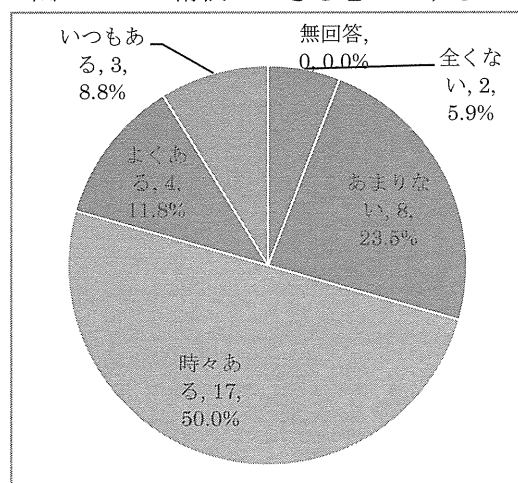
⑩ 仕事によって精根が尽きる思いがする

全くないが2名(5.9%)、あまりないが8名(23.5%)、時々あるが17名(50.0%)、よくあるが4名(11.8%)、いつもあるが3名(8.8%)であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 5 8 精根が尽きる思いがする

	度数	パーセント
全くない	2	5.9
あまりない	8	23.5
時々ある	17	50.0
よくある	4	11.8
いつもある	3	8.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 3 7 精根が尽きる思いがする



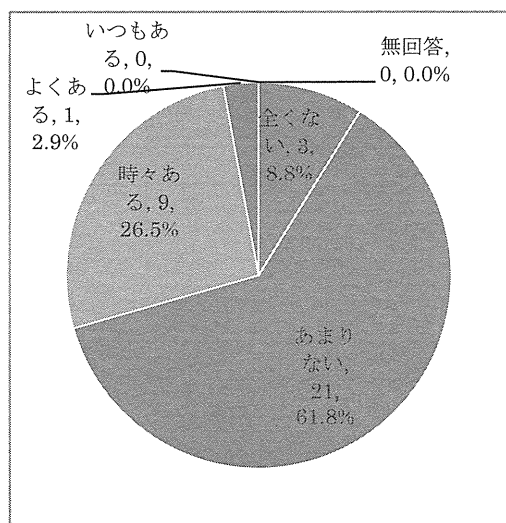
⑪ 仕事に欲求不満を感じる

全くないが3名(8.8%)、あまりないが21名(61.8%)、時々あるが9名(26.5%)、よくあるが1名(2.9%)であり、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表159 仕事に欲求不満を感じる

	度数	パーセント
全くない	3	8.8
あまりない	21	61.8
時々ある	9	26.5
よくある	1	2.9
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図138 仕事に欲求不満を感じる



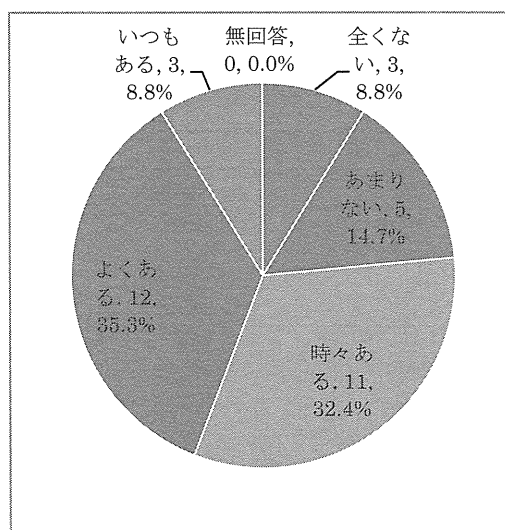
⑫ 自分は働きすぎていると感じる

全くないが3名(8.8%)、あまりないが5名(14.7%)、時々あるが11名(32.4%)、よくあるが12名(35.3%)、いつもあるが3名(8.8%)であり、よくあるという回答の割合が最も高くなっていた。

表160 働きすぎていると感じる

	度数	パーセント
全くない	3	8.8
あまりない	5	14.7
時々ある	11	32.4
よくある	12	35.3
いつもある	3	8.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図139 働きすぎていると感じる



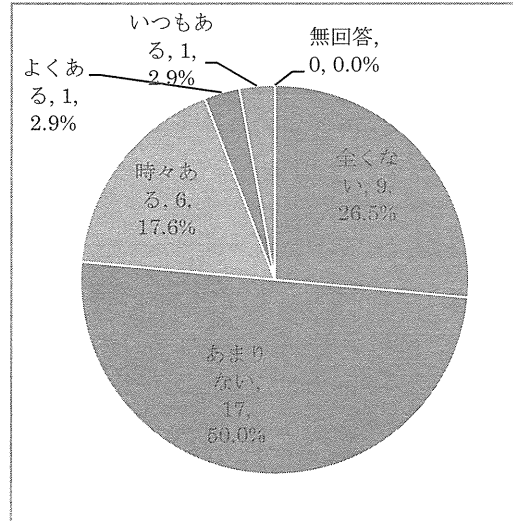
⑬ 人と一緒に働くことは自分にとってストレスである

全くないが9名(26.5%)、あまりないが17名(50.0%)、時々あるが6名(17.6%)、よくあるが1名(2.9%)、いつもあるが1名(2.9%)であり、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表161 人と一緒に働くことはストレス

	度数	パーセント
全くない	9	26.5
あまりない	17	50.0
時々ある	6	17.6
よくある	1	2.9
いつもある	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図140 人と一緒に働くことはストレス



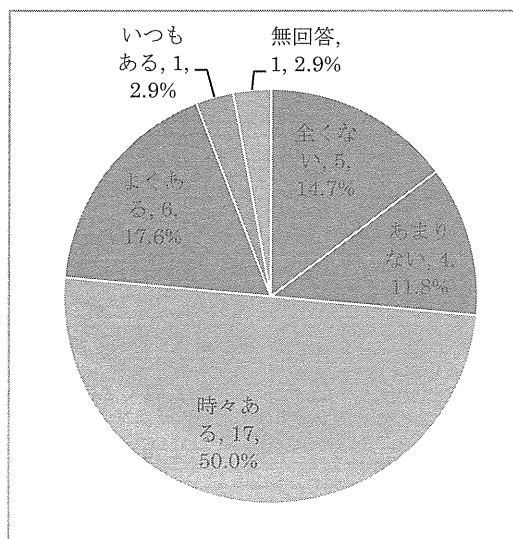
⑭ 自分が追いつめられた状態にいるような気がする

全くないが5名(14.7%)、あまりないが4名(11.8%)、時々あるが17名(50.0%)、よくあるが6名(17.6%)、いつもあるが1名(2.9%)であり、時々あるという回答の割合が最も高くなっていた。

表162 追い詰められた気がする

	度数	パーセント
全くない	5	14.7
あまりない	4	11.8
時々ある	17	50.0
よくある	6	17.6
いつもある	1	2.9
無回答	1	2.9
合計	34	100.0

図141 追い詰められた気がする



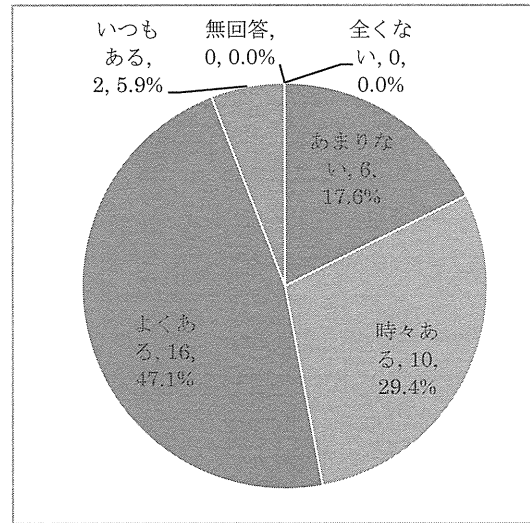
⑮ 利用者のそばで関わりながら働いた後は気分が良い

あまりないが 6 名 (17.6%)、時々あるが 10 名 (29.4%)、よくあるが 16 名 (47.1%)、いつもあるが 2 名 (5.9%) であり、よくあるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 3 関わりながら働く気分が良い

	度数	パーセント
全くない	0	0.0
あまりない	6	17.6
時々ある	10	29.4
よくある	16	47.1
いつもある	2	5.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 2 関わりながら働く気分が良い



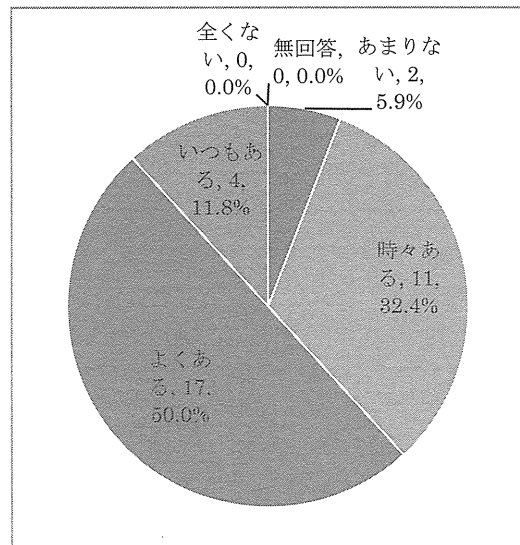
⑯ 自分は非常に重要な仕事をしてきていると感じる

あまりないが 2 名 (5.9%)、時々あるが 11 名 (32.4%)、よくあるが 17 名 (50.0%)、いつもあるが 4 名 (11.8%) であり、よくあるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 4 重要な仕事をしてきている

	度数	パーセント
全くない	0	0.0
あまりない	2	5.9
時々ある	11	32.4
よくある	17	50.0
いつもある	4	11.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 3 重要な仕事をしてきている



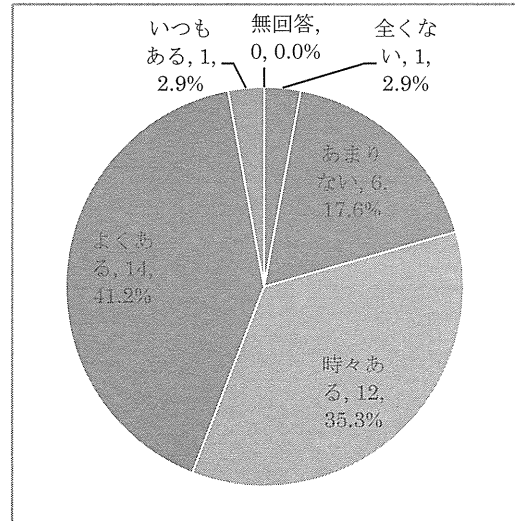
⑰ 自分の仕事の中では感情的な問題も冷静に扱っている

全くないが 1 名 (2.9%)、あまりないが 6 名 (17.6%)、時々あるが 12 名 (35.3%)、よくあるが 14 名 (41.2%)、いつもあるが 1 名 (2.9%) であり、よくあるという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 5 感情的な問題も扱っている

	度数	パーセント
全くない	1	2.9
あまりない	6	17.6
時々ある	12	35.3
よくある	14	41.2
いつもある	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 4 感情的な問題も扱っている



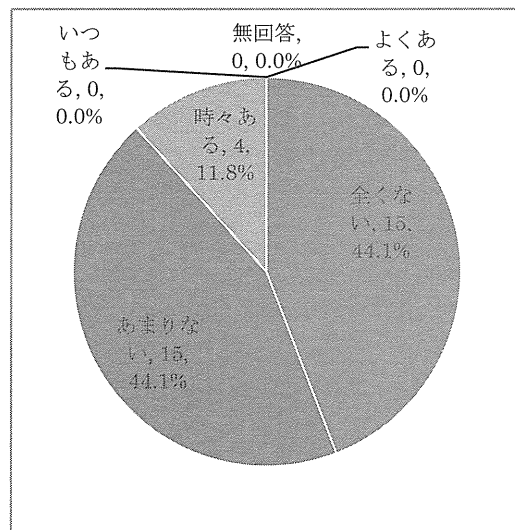
⑱ 利用者を物のように扱っていると感じる

全くないが 15 名 (44.1%)、あまりないが 15 名 (44.1%)、時々あるが 4 名 (11.8%)、であり、全くない、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 6 物のように扱うと感じる

	度数	パーセント
全くない	15	44.1
あまりない	15	44.1
時々ある	4	11.8
よくある	0	0.0
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 5 物のように扱うと感じる



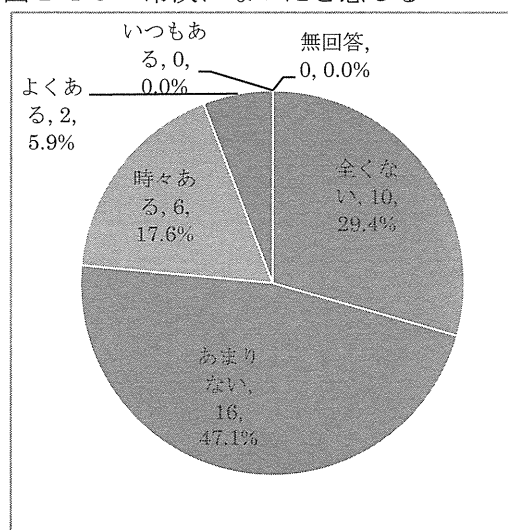
⑱ 今の仕事についてから人に対してより冷淡になったと感じる

全くないが 10 名 (29.4%)、あまりないが 16 名 (47.1%)、時々あるが 6 名 (17.6%)、よくあるが 2 名 (5.9%) であり、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 7 冷淡になったと感じる

	度数	パーセント
全くない	10	29.4
あまりない	16	47.1
時々ある	6	17.6
よくある	2	5.9
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 6 冷淡になったと感じる



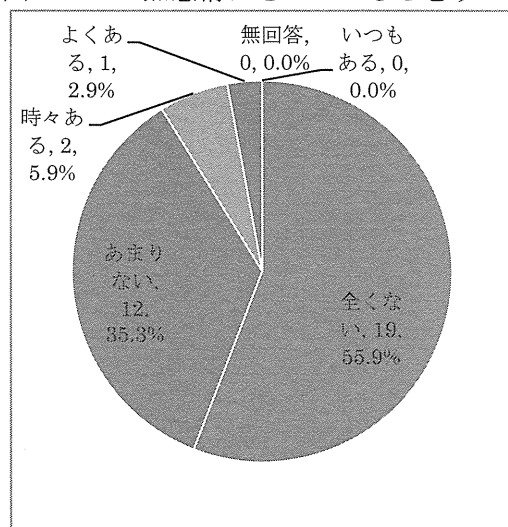
⑳ 今の仕事は自分を無感情にさせているのではないかと思う

全くないが 19 名 (55.9%)、あまりないが 12 名 (35.3%)、時々あるが 2 名 (5.9%)、よくある 1 名 (2.9%) であり、全くないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 8 無感情にさせていると思う

	度数	パーセント
全くない	19	55.9
あまりない	12	35.3
時々ある	2	5.9
よくある	1	2.9
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 7 無感情にさせていると思う



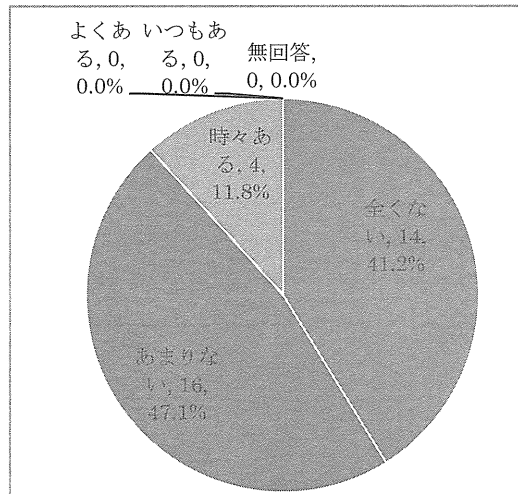
② 利用者に起こっている問題を真剣には配慮していない

全くないが 14 名 (41.2%)、あまりないが 16 名 (47.1%)、時々あるが 4 名 (11.8%) であり、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 6 9 問題を真剣に配慮していない

	度数	パーセント
全くない	14	41.2
あまりない	16	47.1
時々ある	4	11.8
よくある	0	0.0
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 8 問題を真剣に配慮していない



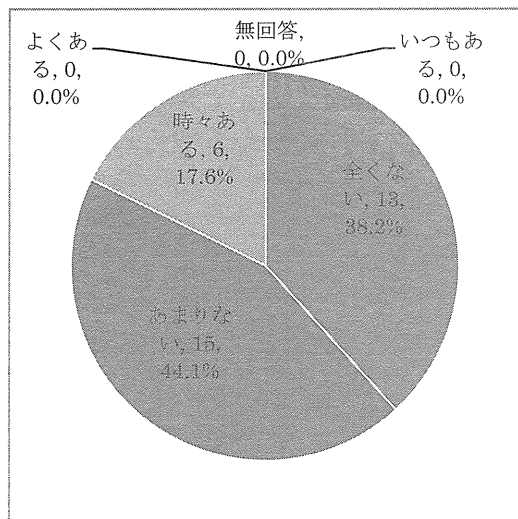
② 利用者が彼らの抱える問題のことで自分を責めているように感じる

全くないが 13 名 (38.2%)、あまりないが 15 名 (44.1%)、時々あるが 6 名 (17.6%) であり、あまりないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 7 0 責めているように感じる

	度数	パーセント
全くない	13	38.2
あまりない	15	44.1
時々ある	6	17.6
よくある	0	0.0
いつもある	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 4 9 責めているように感じる



(20) 相談支援専門員調査まとめ

相談支援専門員調査では、調査回答者である相談支援専門員は男女半々の30歳代と40歳代が中心となっており、実務経験が長いものと短いものが混在していた。資格としては相談支援専門員以外のものは社会福祉士などの福祉系の資格が多くを占め、看護師などの医療系の資格は見られなかった。雇用形態は常勤がほとんどで2/5以上が管理職であった。担当ケース数は10件台が多く、指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業所、指定障害児相談支援事業所の指定をまんべんなく受けていた。事業所は都市部にある傾向にあり、1つの事業所で概ね3名の相談支援専門員が働いている状況となっていた。

一方、調査対象となる利用者については20歳代から50歳代までが中心となっており、男性で家族同居のケースが多くなっていた。障害種別はばらけており、身体障害者手帳は1級、療育手帳は中軽度、精神保健福祉手帳は2級が多くなっていた。障害程度区分は区分3と区分6が多くなっており、相談支援事業を利用してから大きな変化は見られない傾向にあった。また、相談支援事業を利用するきっかけとしては直接来所してのものが多くなっていた。

相談支援事業利用開始時からの変化を見ると、心理・精神面、周囲との関係面、全体の生活から見た自立度といった項目について改善が見られる傾向にあった。このことについて、対応のあるt検定でさらに検証を行ったところ、心理・精神面、周囲との関係面、金銭管理、全体の生活から見た自立度における項目において有意な改善が見られた。また、相談支援専門員自身の評価による相談支援が利用者の変化に影響を及ぼす面についても、心理・精神面や周囲との関係面がといった面が多く挙げられる傾向にあった。そしてその変化の要因として、本人の意向を尊重し、緊急性の高いニーズに対応することの重要性が指摘される傾向にあった。

このことを障害種別に見てみると、相談支援事業利用開始時にADLでは身体障害がある利用者に、心理・精神面や周囲との関係面では精神障害がある利用者に、経済生活・経済環境では知的障害がある利用者にそれぞれ支援が必要とされる傾向にあった。一方、現在では心理・精神面、周囲との関係面、全体の生活から見た自立度で障害種別を問わず全般的に、健康管理については知的障害のある人と精神障害のある人について、経済生活・経済環境については知的障害のある人についてそれぞれ改善が見られた。

利用者が地域で暮らす力については、相談支援事業利用開始時に比べて地域で暮らす力があると評価され、施設入所は考えていないとされる傾向が示された。また、具体的なサービス利用については、居宅介護（ホームヘルプ）、共同生活援助（グループホーム）、移動支援、近隣等インフォーマルサービスといったもので相談支援事業利用開始時に比べてサービスの増加がみられる傾向にあった。

相談支援専門員の職場での勤務状況については、職場内で仕事上の問題をシェアすることができ、必要に応じてケース会議を提案することができるなど連携が取れている傾向が示された。また、相談支援専門員の仕事はやりがいがあるとされ、今後も継続して続けたいとされる傾向にあった。そしてそのためにも、幅広い知識が必要だとされ、自主的に研修・教育の機会を活用している傾向にあることが示された。相談支援専門員の仕事自体については、非常に重要な仕事ととらえられ、冷静な対応が図られている反面、精神的な消

耗や働きすぎが指摘される傾向も示された。

2. 利用者調査

(1) 回答者について

利用者本人による記入が全体の 2/3 以上を占めており、代理記入の場合は家族が全体の 3/4 以上を占めていた。

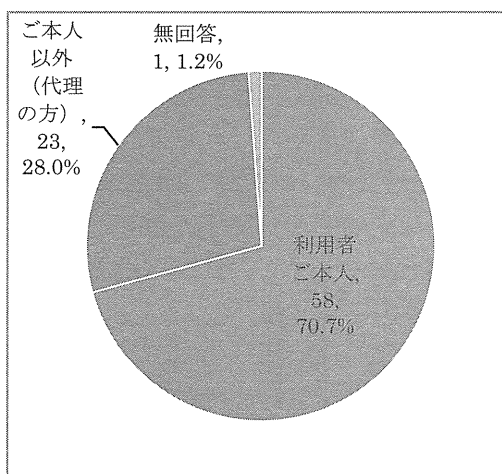
1) 記入者

利用者ご本人が 57 名 (70.4%)、ご本人以外が 23 名 (28.4%) であり、利用者ご本人による回答が 2/3 以上を占めていた。

表 1 7 1 記入者

	度数	パーセント
利用者ご本人	58	70.7
ご本人以外 (代理の方)	23	28.0
無回答	1	1.2
合計	82	100.0

図 1 5 0 記入



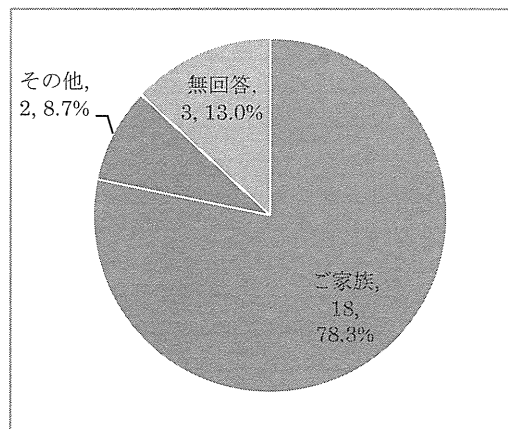
2) 代理記入者

記入者が代理の方の場合、ご家族が 18 名 (78.3%)、その他が 2 名 (8.7%) であり、ご家族による回答が 3/4 以上を占めていた。

表 1 7 2 代理の方

	度数	パーセント
ご家族	18	78.3
その他	2	8.7
無回答	3	13.0
合計	23	100.0

図 1 5 1 代理の方



(2) 利用者について

男性が 2/3 以上を占めており、20 歳代から 50 歳代までで 8 割以上を占めていた。

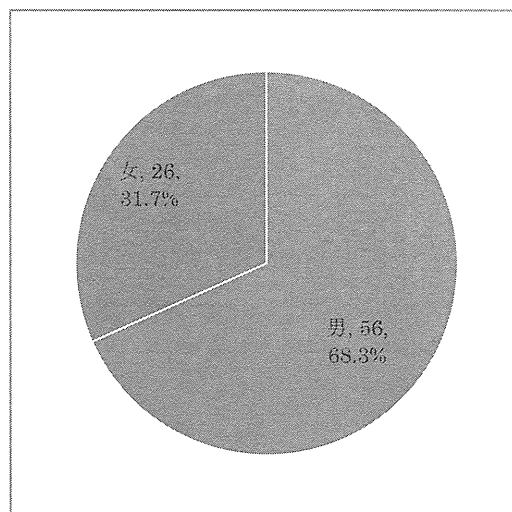
1) 性別

男性が 56 名 (68.3%)、女性が 26 名 (31.7%) であり、男性が 2/3 以上を占めていた。

表 1 7 3 性別

	度数	パーセント
男	56	68.3
女	26	31.7
無回答	0	0.0
合計	82	100.0

図 1 5 2 性別



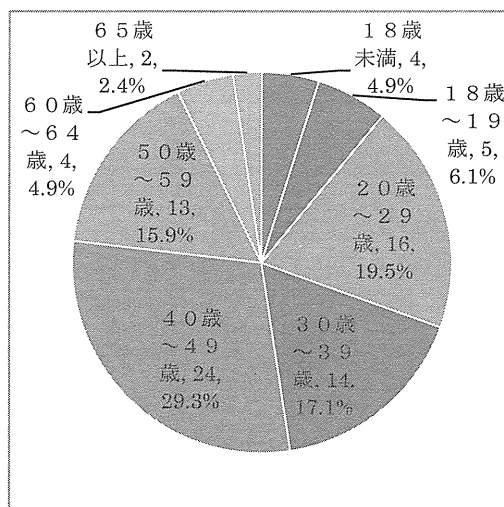
2) 年齢

18 歳未満が 4 名 (4.9%)、18 歳から 19 歳が 5 名 (6.1%)、20 歳から 29 歳が 16 名 (19.5%)、30 歳から 39 歳が 14 名 (17.1%)、40 歳から 49 歳が 24 名 (29.3%)、50 歳から 59 歳が 13 名 (15.9%)、60 歳から 64 歳が 4 名 (4.9%)、65 歳以上が 2 名 (2.4%) となっており、20 歳代から 50 歳代までで 8 割以上を占めていた。

表 1 7 4 年齢

	度数	パーセント
18歳未満	4	4.9
18歳～19歳	5	6.1
20歳～29歳	16	19.5
30歳～39歳	14	17.1
40歳～49歳	24	29.3
50歳～59歳	13	15.9
60歳～64歳	4	4.9
65歳以上	2	2.4
無回答	0	0.0
合計	82	100.0

図 1 5 3 年齢



(3) 満足度

利用者の満足度について、不安や心配なことの話を聞いてもらう、障害福祉サービスの調整をしてもらう、何かあった時のために見守ってもらうといった項目でとても満足・満足という割合が8割近くを占めていた。

1) 相談支援専門員に対して満足か

不安や心配なことの話を聞いてもらう、障害福祉サービスの調整をしてもらう、何かあった時のために見守ってもらうといった項目でとても満足・満足の割合が8割近くを占めていた。

① 不安や心配なことの話を聞いてもらう

とても満足が34名(41.5%)、満足が30名(36.6%)、どちらでもないが12名(14.6%)、不満が4名(4.9%)であり、とても満足という回答の割合が最も高くなっていた。